

三重県南部地域振興プラン (別冊)データ集

令和5年12月 三重県南部地域振興局

■三重県南部地域13市町 基礎データ



■南部地域の人口(人)(R2国勢調査、R4三重県市町要覧、社人研推計)

	H27.10.1	R2.10.1	増減率(%)	R4.4.1(推計)	R27(推計)
県計	1,815,865	1,770,254	-2.5	1,744,795	1,430,804
南部計	324,247	301,928	-6.9	293,679	200,475
伊勢市	127,817	122,765	-4.0	120,802	100,547
尾鷲市	18,009	16,252	-9.8	15,603	7,496
鳥羽市	19,448	17,525	-9.9	16,933	8,572
熊野市	17,322	15,965	-7.8	15,366	7,652
志摩市	50,341	46,057	-8.5	44,400	24,848
大台町	9,557	8,668	-9.3	8,298	4,939
玉城町	15,431	15,041	-2.5	14,903	14,148
度会町	8,309	7,847	-5.6	7,674	5,236
大紀町	8,939	7,815	-12.6	7,424	3,796
南伊勢町	12,788	10,989	-14.1	10,379	3,892
紀北町	16,338	14,604	-10.6	13,934	7,783
御浜町	8,741	8,079	-7.6	7,891	4,964
紀宝町	11,207	10,321	-7.9	10,072	6,602

■生産年齢人口等 (R2.10, %) (R4三重県市町要覧)

	老年人口割合	年少人口割合	生産年齢人口割合
県	29.9	12.1	58.0
伊勢市	32.1	11.6	56.3
尾鷲市	44.9	8.7	46.4
鳥羽市	39.5	9.1	51.3
熊野市	44.7	9.6	45.8
志摩市	41.2	8.7	50.1
大台町	43.4	9.3	47.3
玉城町	28.4	14.0	57.6
度会町	36.2	11.2	52.7
大紀町	50.4	7.2	42.4
南伊勢町	53.6	5.9	40.5
紀北町	46.0	8.0	46.0
御浜町	40.9	10.6	48.5
紀宝町	37.5	11.3	51.2

■三重県南部地域13市町 基礎データ

■南部地域の面積(km²) (R4三重県市町要覧)

	総面積 (R3.10.1)	耕地 (R3.7.15)	宅地 (R3.1.1)	森林 (R3.3.31)
伊勢市	208.37	27.20	21.40	109.56
尾鷲市	192.71	0.68	3.42	177.03
鳥羽市	107.34	3.77	4.30	74.84
熊野市	373.35	6.05	4.47	329.35
志摩市	178.94	9.77	14.12	91.04
大台町	362.86	4.34	2.84	337.60
玉城町	40.91	13.80	3.34	12.59
度会町	134.98	6.60	1.95	114.10
大紀町	233.32	5.67	2.20	211.32
南伊勢町	241.89	5.37	2.80	206.29
紀北町	256.54	2.80	3.57	229.34
御浜町	88.13	12.20	2.14	56.92
紀宝町	79.62	4.18	2.48	60.73

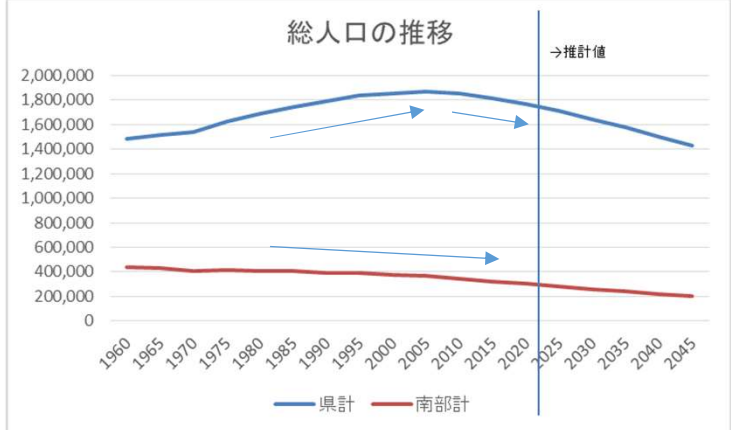
■産業別総生産、就業人口(R2国勢調査、R4三重県市町要覧)

	総生産(H30年度、百万円、%)			就業人口(R2.10.1、人、%)		
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
県全体	87,612	3,720,120	4,576,310	26,455	259,965	529,951
	1.0	44.4	54.6	3.2	31.8	64.9
南部計	35,785	255,687	695,505	9,037	32,400	96,286
	3.6	25.9	70.5	6.6	23.5	69.9
伊勢市	4,409	123,939	315,087	1,406	14,462	40,482
	1.0	27.9	70.8	2.4	24.7	69.2
尾鷲市	1,959	8,818	46,497	384	1,438	5,237
	3.4	15.4	80.9	5.4	20.2	73.7
鳥羽市	4,399	7,150	62,220	1,131	1,445	6,012
	5.9	9.7	84.1	12.7	16.2	67.4
熊野市	1,458	6,339	38,917	533	1,212	5,145
	3.1	13.5	83.0	7.7	17.5	74.1
志摩市	2,646	11,905	90,713	1,663	3,674	15,302
	2.5	11.3	85.9	7.8	17.3	72.0
大台町	1,199	5,060	19,375	292	1,093	2,419
	4.7	19.7	75.3	7.4	27.5	61.0
玉城町	1,566	56,070	19,875	462	2,455	4,481
	2.0	72.1	25.6	6.0	32.0	58.5
度会町	645	3,344	8,626	223	1,259	2,311
	5.1	26.4	68.2	5.8	32.5	59.6
大紀町	1,222	5,075	11,146	287	978	2,129
	7.0	29.0	63.7	8.4	28.7	62.5
南伊勢町	9,283	5,105	18,239	884	875	2,898
	28.4	15.6	55.7	18.6	18.4	61.1
紀北町	3,409	8,839	31,411	580	1,673	4,221
	7.8	20.2	71.7	8.8	25.3	63.9
御浜町	3,173	3,405	16,539	905	561	2,554
	13.7	14.7	71.3	22.4	13.9	63.2
紀宝町	417	10,638	16,860	287	1,275	3,095
	1.5	38.0	60.2	6.0	26.6	64.6

(参考) データ集

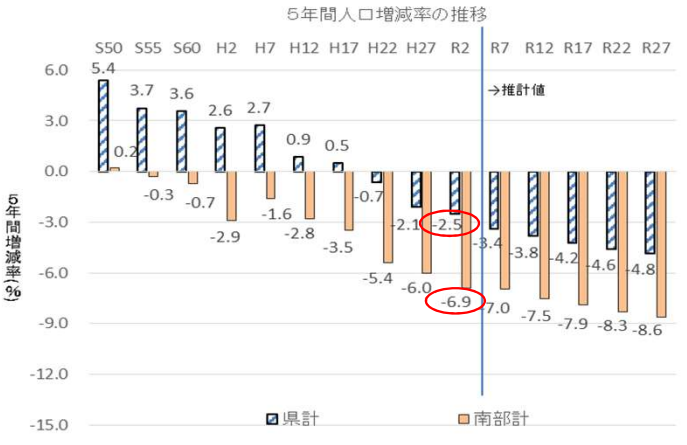
①人口の動向(総人口・人口減少率)

- 南部地域の人口は1960年以降、減少の一途。
- 県全体では、2045年に1960年とほぼ同じ総人口と推計されるが、南部地域は2045年には1960年から半減と推計されている。
- 県全体の人口減少率は-2.5%に対し、南部地域は-6.9%



■ 南部地域の人口(人)

市町	2020年
伊勢市	122,765
尾鷲市	16,252
鳥羽市	17,525
熊野市	15,965
志摩市	46,057
大台町	8,668
玉城町	15,041
度会町	7,847
大紀町	7,815
南伊勢町	10,989
紀北町	14,604
御浜町	8,079
紀宝町	10,321
南部地域計	301,928
県計	1,770,254



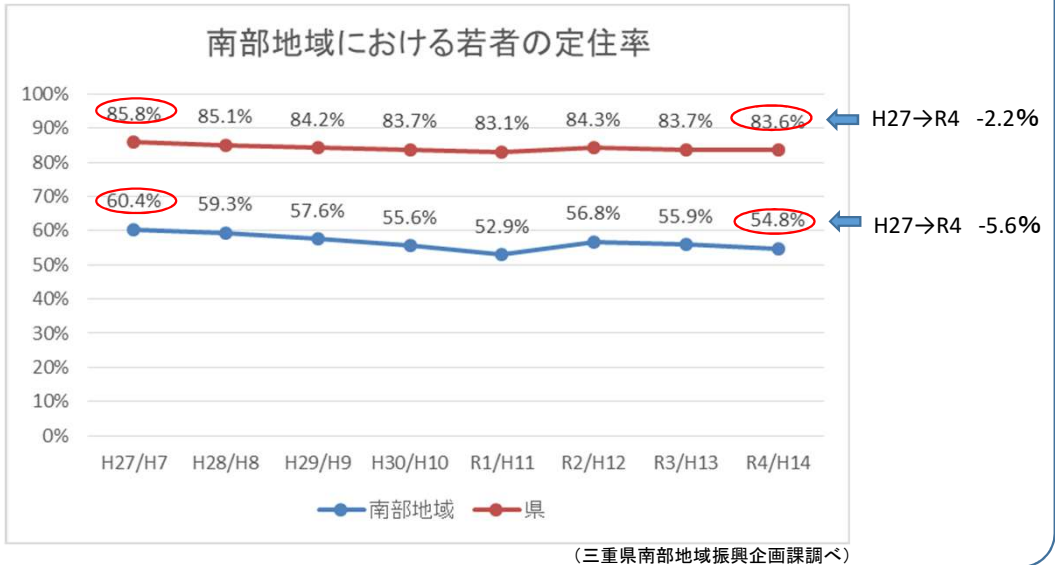
②転出超過、若者の定住率

- 県全体でも南部地域でも社会減が続いている傾向は共通。しかし、人口に対する割合で見ると県全体の倍となっている。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
転入超過数(県計)	-4,063	-4,225	-6,251	-4,311	-3,480
転入超過数(南部地域計)	-1,768	-2,004	-2,252	-1,783	-1,384
人口に対する割合(県計・%)	0.23	0.24	0.35	0.24	0.20
人口に対する割合(南部地域計・%)	0.56	0.65	0.74	0.59	0.47

(三重県人口減少実態調査・要因分析(三重県政策企画部))

- 若者の定住率の低下は県全体でも南部地域でも減少傾向は同じ。ただし、南部地域は県全体よりも減少率大きい。



(参考) データ集

③ 高等教育機関の状況

- ▶ 南部地域に存在する高等教育機関は2校(皇学館大、鳥羽商船高専)
- ▶ 近鉄沿線でない紀勢・東紀州地域は、自宅から地域外の高等教育機関への通学も容易でなく、大学進学を機に南部地域を離れる若者が存在。



(参考) 通学にかかる時間

	尾鷲発	江戸橋着
往路	5時46分発	8時17分着
	江戸橋発	尾鷲着
復路	16時44分発	19時52分着

※特急利用なしの場合

④ 都市部からの所要時間

- ▶ 南部地域は都市部(特に関東圏)から時間がかかり、公共交通機関(列車、バス)がない地域や高速道路がない地域もある。



■ 鉄道

区間	所要時間
東京駅～鳥羽駅(JR)	約3時間50分
東京駅～熊野市駅(JR)	約5時間10分
名古屋駅～賢島駅(近鉄)	約2時間10分
難波駅～賢島駅(近鉄)	約2時間30分

■ 自動車

区間	所要時間
東京IC～伊勢西IC	約5時間
東京IC～熊野大泊IC	約6時間
名古屋西IC～伊勢西IC	約1時間20分
名古屋西IC～熊野大泊IC	約2時間15分
梅田出入口～伊勢西IC	約2時間20分
梅田出入口～熊野大泊	約3時間15分

(参考) データ集

⑤子育て

- 人口当たりの保育所定員数は、県全体に比べて南部地域の方が多く13市町すべてで県平均を上回っている。
- 南部地域は、全ての市町で保育所等の待機児童がゼロ

■保育所定員数(人口千人あたり)(R3.10)

	値(人)
県全体	221.0
南部地域	356.7

(2023 統計でみる三重のすがた)

■保育所待機児童数

市町名	R4.4	R5.4
津市	0人	57人
亀山市	19人	5人
鳥羽市	5人	0人
熊野市	1人	0人
伊賀市	3人	3人
東員町	12人	26人
菰野町	3人	0人
川越町	21人	12人

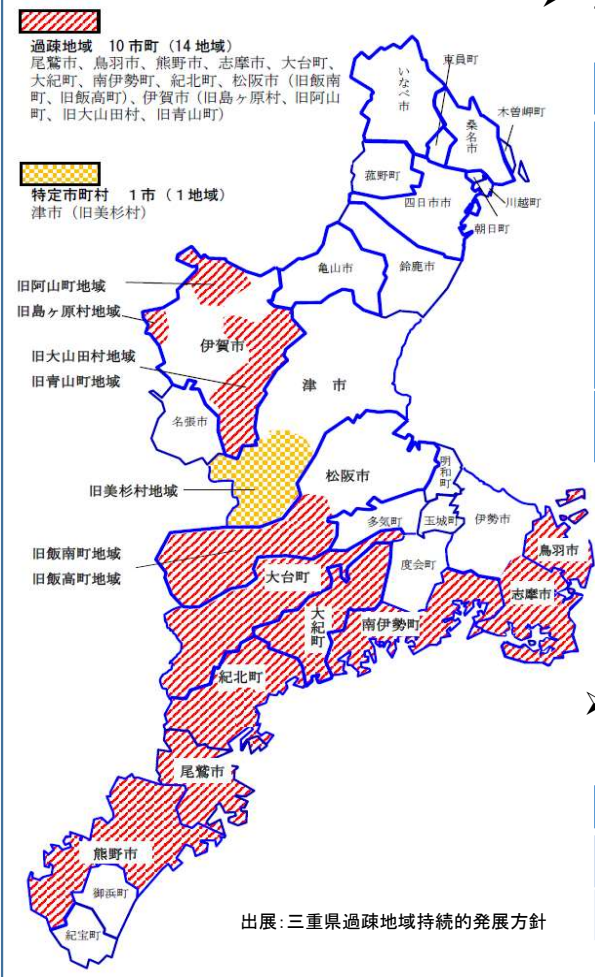
(三重県こども・福祉部調べ)

- 南部地域では子どもの医療費助成(通院)の対象を18歳年度末に拡大している市町が多い。

	拡大市町	市町数
県全体	8	29
うち南部地域	5	13

(子どもへの医療費助成制度実施状況(三重県医師会))

⑥過疎地域、離島の状況



- 全部過疎に指定されている8市町は、全て南部地域の市町

区分	市町名
過疎地域	【全部過疎市町】 尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、大台町、大紀町、南伊勢町、紀北町
	【一部過疎を有する市町】 松阪市(旧飯南町、旧飯高町) 伊賀市(旧島ヶ原村、旧阿山町、旧大山田村、旧青山町)
特定市町村	津市(旧美杉村)

- 三重県内の有人離島6つは全て南部地域の市町に存在

有人離島	所在市町
答志島、菅島、坂手島、神島	鳥羽市
間崎島、渡鹿野島	志摩市

出展: 三重県過疎地域持続的発展方針

(参考) データ集

⑦ 地勢の状況

- 南部地域13市町の面積は県全体の43%であるのに対し、森林面積は県全体の54%を占めている。
- 県全体での平均森林率64%に対し、南部地域は81%

	区域面積 (ha)	森林面積 (ha)	森林率 (%)
県全体	577,442	372,030	64
南部地域	249,444	201,072	81

(令和3年度版森林・林業統計書(三重県))

- 可住地面積割合が10%未満の市町もあり、雄大な自然が身近

■ 可住地面積割合が低い5市町 (%)

熊野市	紀北町	大紀町	尾鷲市	大台町
12.2	12.0	9.6	8.9	7.6

(2022 統計でみる三重のすがた)

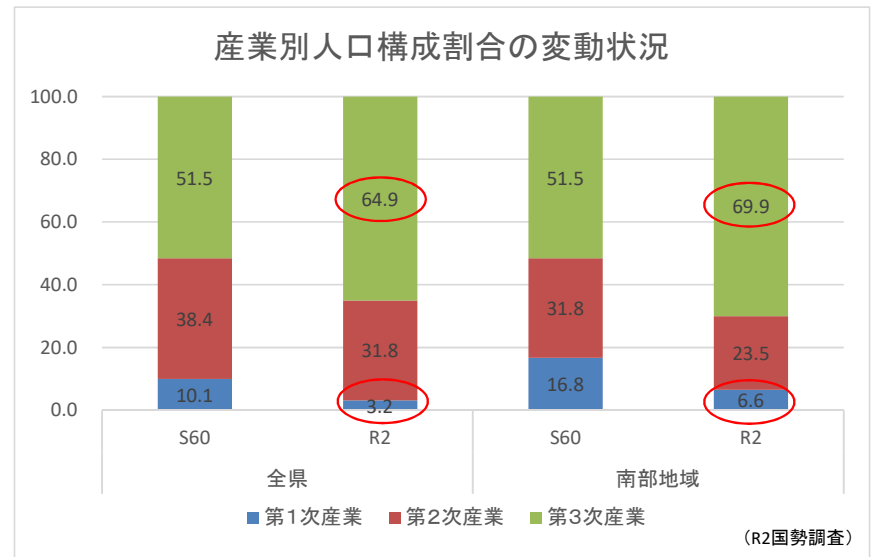
⑧ 事業所の数、産業別従事者数

- 南部地域の事業所数は県全体の約20%
- 特に雇用の受け皿の中心となる製造業の事業所数は県全体の15%

	事業所数(所)	うち製造業(所)
県全体	80,396	3,245
南部地域	17,438	462
構成比	21.7%	14.2%

(令和3年経済センサス 活動調査)

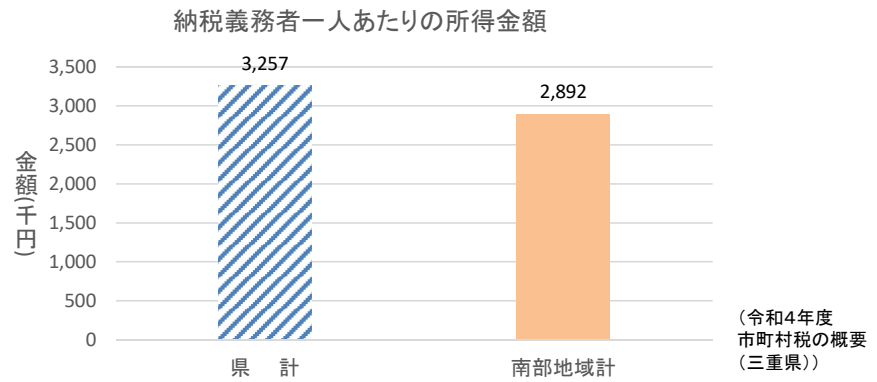
- 全県、南部地域とも昭和60年から平成27年までの35年間で第1次産業の従事者数は減少。しかし、依然として、南部地域では、第1次産業の従事者数が県全体の2倍の割合となっている。
- 一方で、南部地域は第3次産業従事者の割合が県全体よりも高い。



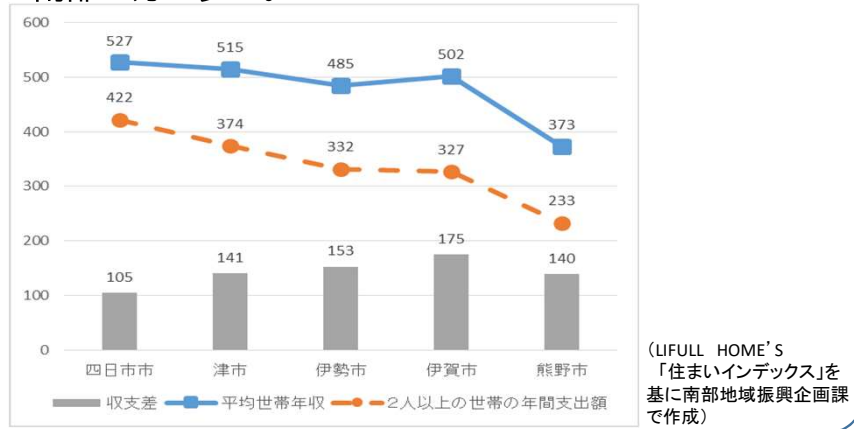
(参考) データ集

⑨市町民所得、収支差

- ▶ 南部地域の令和4年度の納税義務者一人当たりの所得金額は全市町で県平均の3,257千円を下回っている。
- ▶ 南部地域の平均は2,892千円(県平均の約9割)



- ▶ 北部(四日市市)と南部(熊野市)では収入に大きな差があるが、収支差は南部の方が大きい。

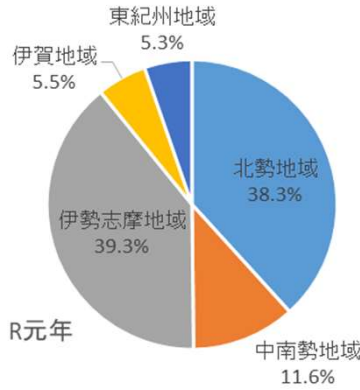


⑩観光入込客数

- ▶ 県内観光入込客数の約45%が南部地域(コロナ前)。特に、伊勢志摩地域は県内でも有数の集客力を誇る施設が点在。

■地域別入込客数(令和元年、延数)

	人数(人)	割合(%)
北勢地域	29,188,258	38.3
中南勢地域	8,826,401	11.6
伊勢志摩地域	29,983,433	39.3
伊賀地域	4,232,542	5.5
東紀州地域	4,048,973	5.3
合計(実数)	76,279,607	100



(令和元年観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書)

■入込客数の多い地点(令和元年、延数)

【県内】		【伊勢志摩】		【東紀州】	
調査地点	人数(人)	調査地点	人数(人)	調査地点	人数(人)
ナガシマリゾート	15,500,000	伊勢神宮	9,729,616	紀北PA始神テラス	624,242
伊勢神宮	9,729,616	おかげ横丁	5,920,000	道の駅マンボウ	451,575
おかげ横丁	5,920,000	二見興玉神社	2,457,150	熊野古道	376,258
二見興玉神社	2,457,150	鳥羽市旅館街	1,696,924	鬼ヶ城	277,497
鈴鹿サーキット	2,042,146	志摩スペイン村	1,314,000	お魚市場おとと	274,866

(令和元年観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書)

- ▶ 新型コロナの影響で減少となった熊野古道伊勢路の来訪者数は順調に回復傾向にある。

■熊野古道伊勢路来訪者数(推計値)

	H30	R1	R2	R3	R4
来訪者数	330,632人	376,258人	226,406人	245,833人	290,905人

((一社)東紀州地域振興公社調べ)

(参考) データ集

⑪ 南部地域での大規模イベント

➤ 人口を超える集客力のあるイベントがある一方、担い手不足を理由に休止となっている伝統行事もある

■ 例年実施される主な大規模集客イベント・祭り

内容	開催地	集客数(令和元年)
伊勢神宮奉納全国花火大会	伊勢市	約19万人
鳥羽みなとまつり	鳥羽市	約3万人
伊勢えび祭り	志摩市	約3万人
志摩ロードパーティ	志摩市	約6千人
熊野大花火大会	熊野市	約8万人
おわせ港まつり	尾鷲市	約5万人
ヤーヤ祭り	尾鷲市	約2万人
きほく燈籠祭	紀北町	約3万5千人

(令和元年観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書)

【参考】熊野古道世界遺産登録20周年(R6.7) 伊勢神宮次期式年遷宮(R15.10)

■ 担い手不足等のため休止されている無形民俗文化財

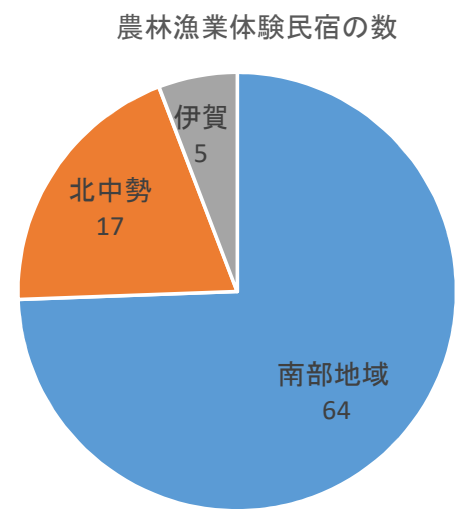
内容	開催地	休止年
二木島祭	熊野市	H23以降
ゲーター祭り	鳥羽市	H30以降

⑫ 自然や食など地域資源が豊富

- 南部地域には、伊勢志摩国立公園、吉野熊野国立公園、奥伊勢宮川峡県立自然公園が存在
- 県内の農林漁業体験民宿の約75%が南部地域に立地



出展：三重県農林水産部HP



(三重県農林水産部調べ)

➤ 南部地域へは、自然や食を目的とした旅行者が多い

■ 旅行目的(主なもの) (令和3年観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書)

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
自然や風景を見て回る	32.2%	23.5%	15.0%	71.7%	48.8%
のんびり過ごす	12.2%	13.7%	21.0%	35.7%	23.9%
テーマパーク・水族館	3.4%	1.4%	43.8%	11.6%	0.8%
おいしいものを食べる	15.6%	19.0%	44.6%	38.1%	42.4%
買い物	51.5%	63.3%	7.6%	7.7%	23.7%

(参考) データ集

⑬ 農林水産業の状況

- 県内でも大きな生産量を誇る農作物(柑橘類、イチゴ等)の産地がある
- 漁業は従事者、漁獲量とも南部地域が県の大半を占める

■ 農林水産業従事者数(人)
(R2国勢調査)

	農業	林業	漁業
県計	20,993	930	4,532
南部計	4,662	461	3,914
伊勢市	1,197	28	181
尾鷲市	100	38	246
鳥羽市	116	3	1,012
熊野市	364	66	103
志摩市	426	13	1,224
大台町	205	81	6
玉城町	442	9	11
度会町	177	31	15
大紀町	143	57	87
南伊勢町	211	21	652
紀北町	147	82	351
御浜町	873	12	20
紀宝町	261	20	6

■ 農業産出額(1,000万円)
(農林水産省「令和3年市町村別農業産出額」)

	農業産出額
県計	10,617
南部計	2,589
伊勢市	430
尾鷲市	7
鳥羽市	90
熊野市	124
志摩市	230
大台町	167
玉城町	302
度会町	89
大紀町	156
南伊勢町	81
紀北町	172
御浜町	664
紀宝町	77

■ 漁獲量(t)
(農林水産省「平成30年海面漁業生産統計調査」)

	漁獲量計
県計	131,884
南部計	116,501
伊勢市	6,463
尾鷲市	8,287
鳥羽市	19,378
熊野市	1,614
志摩市	9,898
大台町	-
玉城町	-
度会町	-
大紀町	913
南伊勢町	53,997
紀北町	15,275
御浜町	656
紀宝町	20

(参考)データ集

⑬農林水産業の状況 ➤ 南部地域では、三重県を代表する農林水産物が多数生産されている。

品目	南部地域の主な産地
真珠	志摩市、南伊勢町
松阪牛	大紀町、玉城町、大台町
伊勢えび	鳥羽市、志摩市、南伊勢町
的矢かき	志摩市
あわび	鳥羽市、志摩市、紀北町
伊勢茶	度会町、大台町
ひじき	鳥羽市、志摩市、紀北町
尾鷲ヒノキ	尾鷲市、紀北町
南紀みかん	熊野市、御浜町、紀宝町
あのりふぐ	志摩市
熊野地鶏	熊野市
岩がき	鳥羽市、志摩市、紀北町
伊勢たくあん	伊勢市
あおさのり	鳥羽市、志摩市、南伊勢町
答志島トロさわら	鳥羽市



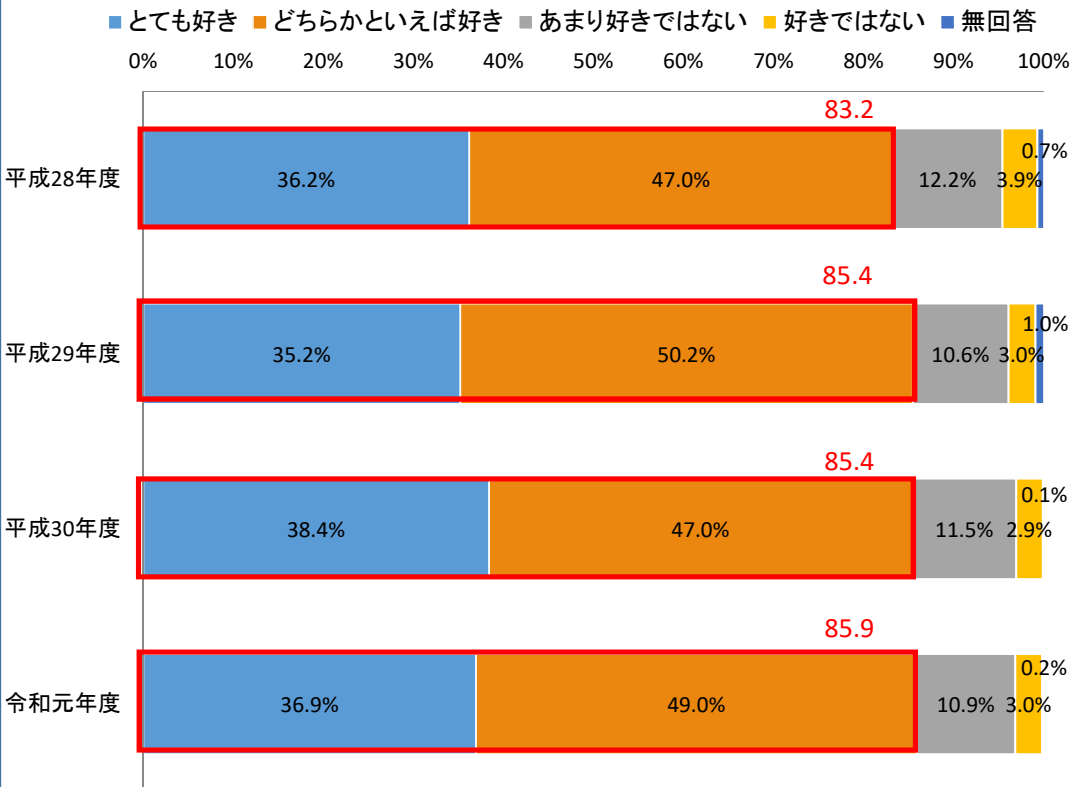
出展：三重県農林水産部HP

(参考) データ集

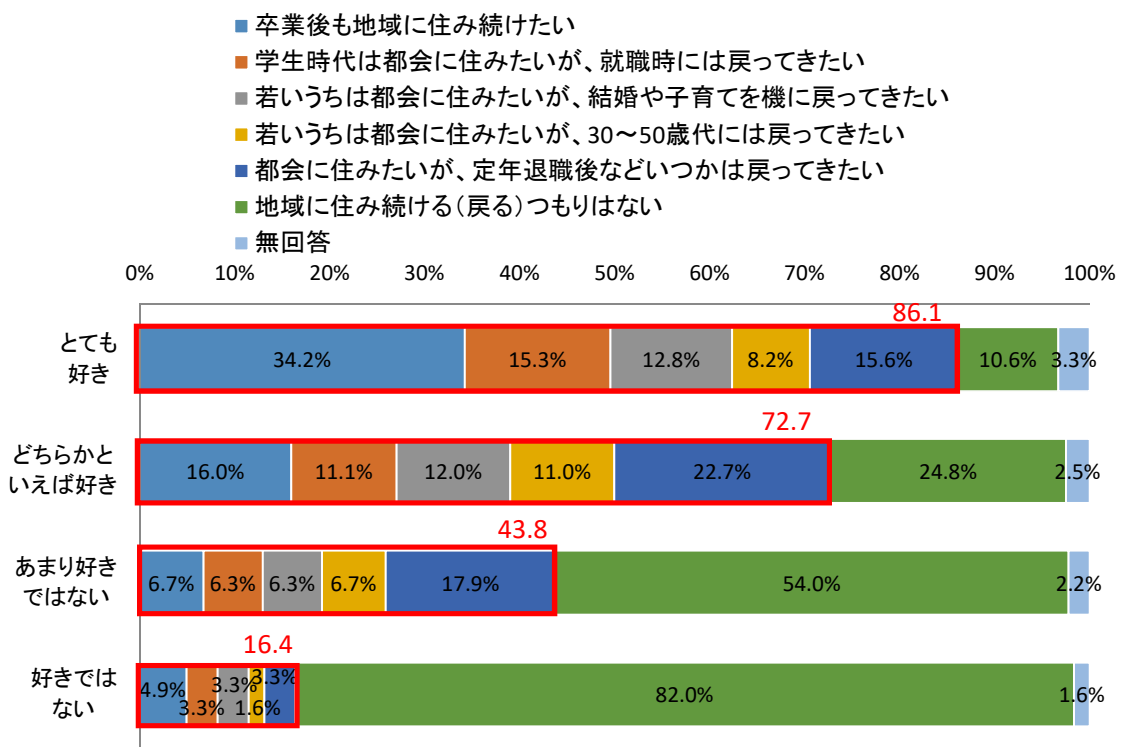
⑭ 高校生の声

- 南部地域に所在する全日制及び定時制高校と特別支援学校の2年生を対象に調査(平成28～令和元年度「地域への愛着や将来的な定住の意向に関するアンケート」)
- 住んでいる地域のこと好きと答えた学生は約85%。
- 「地域が好き」と感じている学生は「地域に住み続けたい」「将来戻ってきたい」と考える割合が高くなる傾向にある。

■ 自分の住んでいる地域のこと好きか



■ 現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいか (地域への愛着度との相関関係、令和元年度)



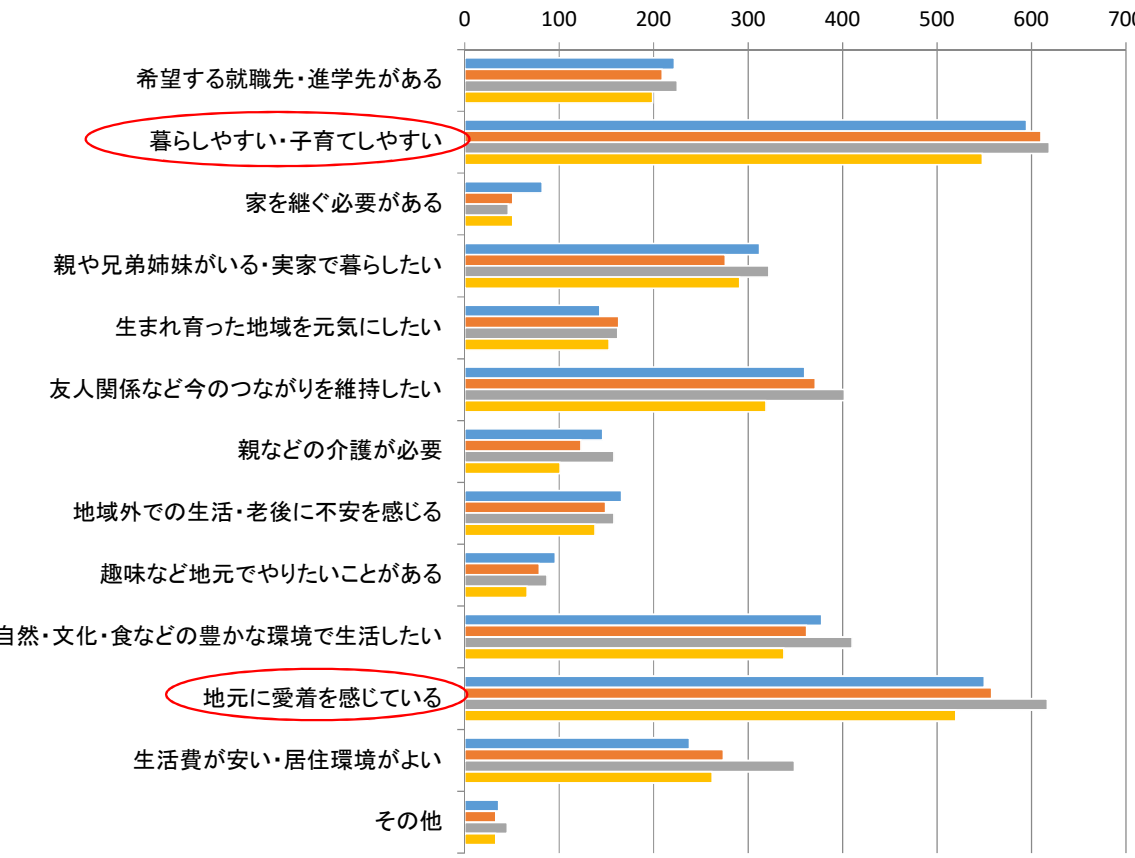
(参考) データ集

⑭ 高校生の声

- 地域に住み続けたい又は戻ってきたい理由で多いのは「暮らしやすい・子育てしやすい」「地元へ愛着を感じている」
- 転出する理由で多いのは、「希望する就職先・進学先がない」「生活・交通が不便」という消極的な理由の他、「新しい環境でチャレンジしたい」「地元ではできないことがある」など都会への期待感も。

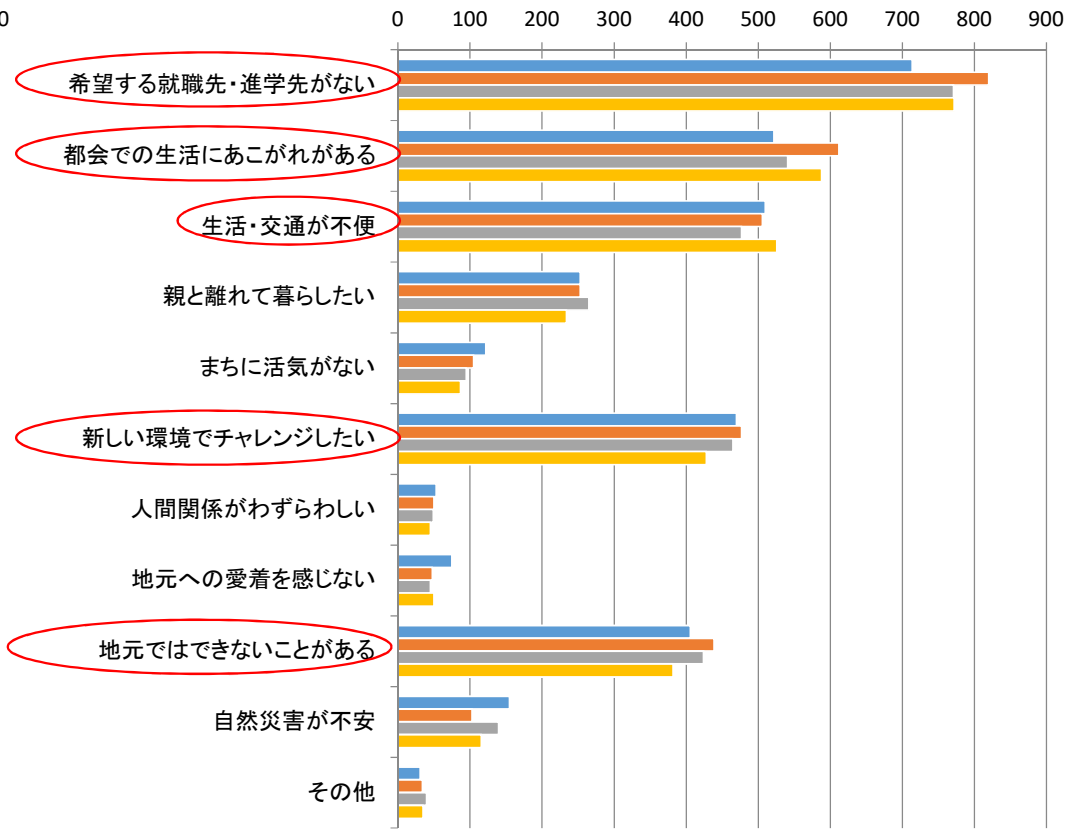
■ 住み続けたい又は将来的に戻ってきたい理由

■ 平成28年度 ■ 平成29年度 ■ 平成30年度 ■ 令和元年度



■ 今の地域から転出する理由

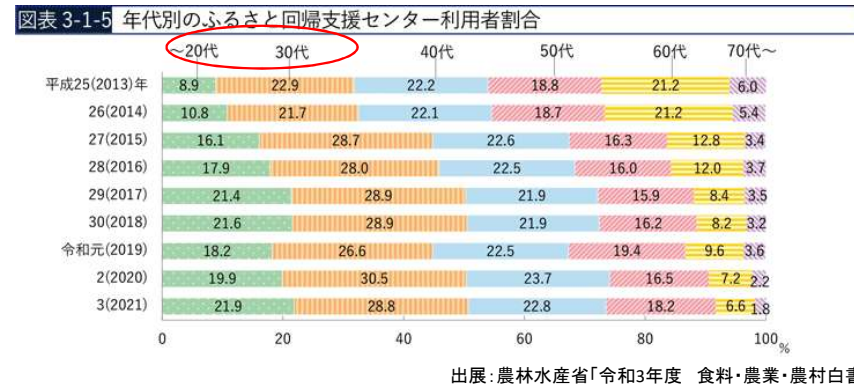
■ 平成28年度 ■ 平成29年度 ■ 平成30年度 ■ 令和元年度



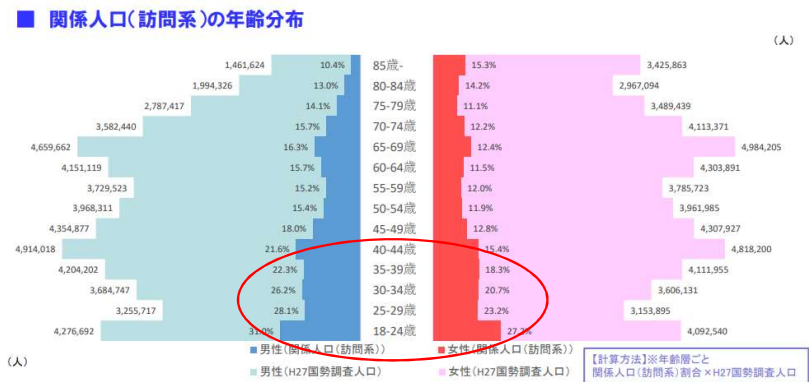
(参考) データ集

⑮新たな時代潮流

- SDGsの考え方の浸透や新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、地方移住への関心が高まっており、ふるさと回帰支援センターへの移住相談者のうち約半数が20～30代の若者となっている



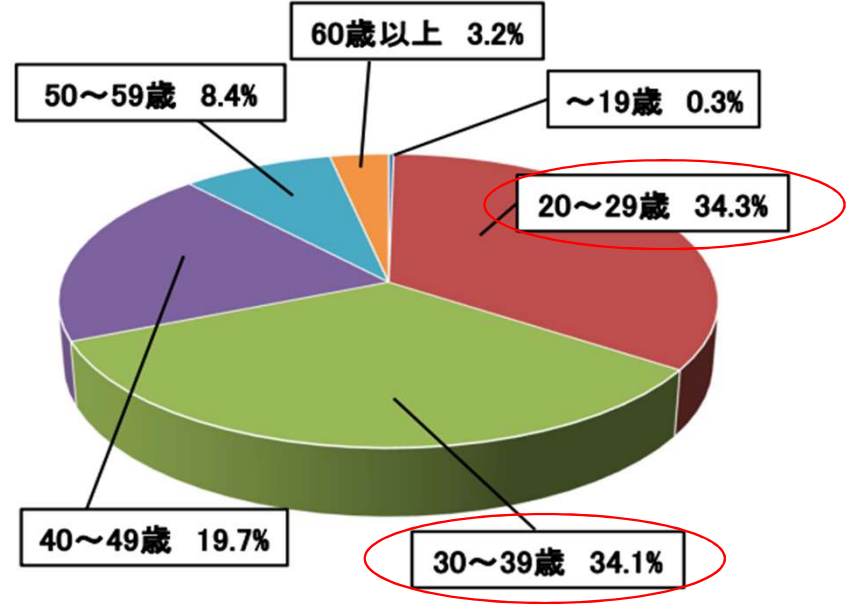
- 関係人口の年齢分布においても、40歳代以下の比較的若い世代が多い



- 都市地域から過疎地域等へ住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売等の地域おこしの支援を行う「地域おこし協力隊」は3年連続増加。
- 年齢構成では、30代以下が約7割を占める。

■ 地域おこし協力隊員数の推移(全国)

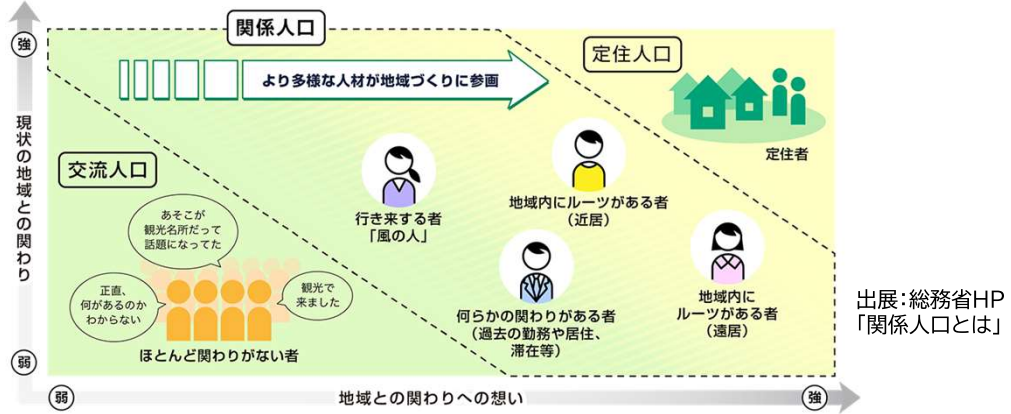
	R元	R2	R3	R4
隊員数(人)	5,503	5,560	6,015	6,447
受入自治体数	1,071	1,065	1,087	1,118



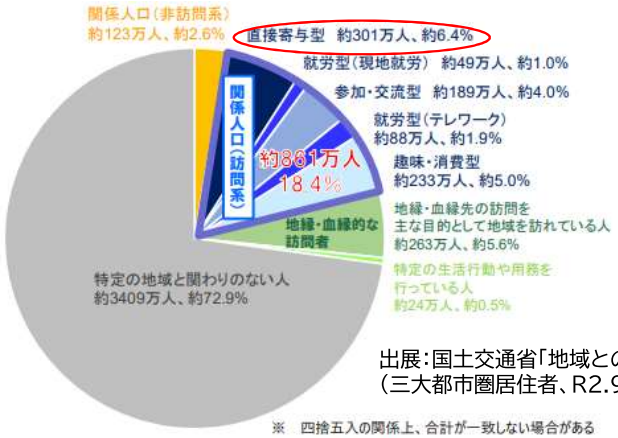
出展：総務省「地域おこし協力隊の隊員数等について」(R4)

(参考) データ集

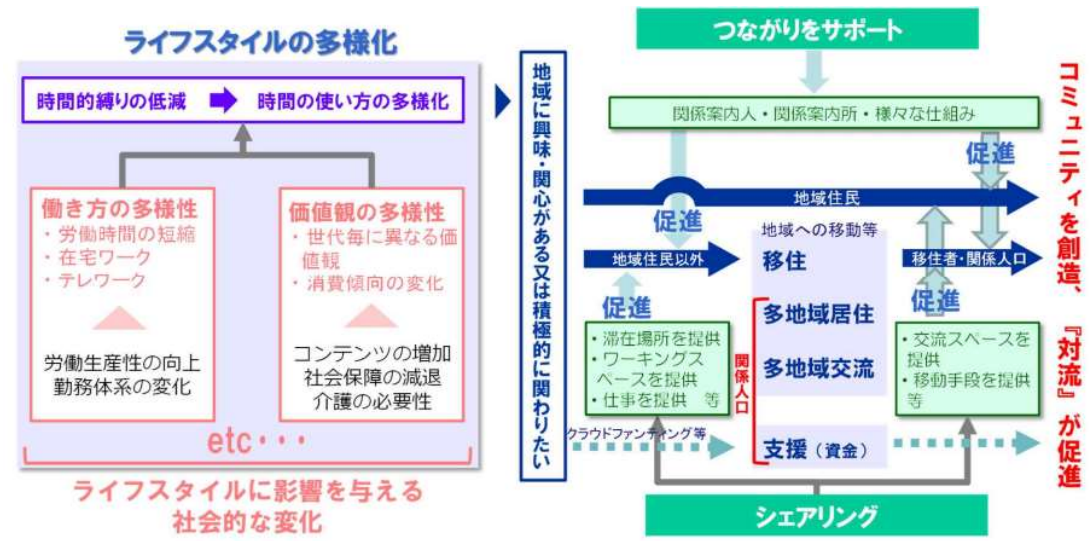
⑮ 新たな時代潮流



- 18歳以上の約2割弱が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問
- 地域を訪問している関係人口の約3割は「直接寄与型」として、地域づくりやボランティア活動等に関与。



- 副業を許容する企業の増加やフリーランスの拡大等、働き方が多様化。多地域居住者など個人の価値観も変容し、時間の使い方が多様化。結果、地域に興味を持つことへの素地を形成。



- 人口を主要な指標としない「にぎやかな過疎」といった、地域に対する新たな考え方も提唱され始めている(明治大学農学部 小田切徳美教授)。
- 新たな地域間競争として、前向きに取り組みを進める地域とそうでない地域の間「むら・むら格差」が発生しているとの指摘もある。